

救急車、本当に必要ですか？

小平市内、救急出場件数過去最多

令和4年中の、小平市内での救急出場件数は10,969件(1日平均30件)で過去最多(前年比+約1500件)
 東京消防庁管内の救急出場件数は872,075件、そのうち入院を必要としない軽症者が53.4%で、
 救急車が現場に到着するまで平均で9分43秒かかっています。

救急車の適正利用にご協力をお願いします！

突然の症状やけが
 救急車を呼ぶか迷ったら...



**救急車(119)は
 こんなときに**

- 意識がない(返事がない)・けいれんがとまらない
- 大量の出血を伴うケガ・広範囲のやけど
- ものを喉に詰まらせて呼吸が苦しい、意識がない
- 交通事故、溺れている、高いところから転落
- 子供のじんましん、顔色が悪くなった
- 乳幼児の様子がおかしい

電話で相談
 東京消防庁救急相談センター
#7119
 こちらからもつながります
 23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323
24時間受付・年中無休

「本当に緊急か」これで相談!

ネットでガイド
 東京版救急受診ガイド
救急受診ガイド 検索
 インターネットで、病やけがの緊急度、受診する時期、受診する科目などを確認できます。
質問に答えるだけの簡単スピーディ!

消防に関するお問合せは、お近くの消防署・出張所へ

- 小平消防署 小平市仲町21 ☎042-341-0119
- 小川出張所 小平市小川町1-208-1 ☎042-345-0119
- 花小金井出張所 小平市花小金井6-12-1 ☎042-462-0119

東京消防庁 & 小平消防署のホームページ

東京消防庁ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

小平消防署ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kodaira>

消防こだいら

小平市内令和5年中の災害件数
 1月1日~8月31日現在

火災件数	38件(前年比 +9件)
救急件数	6496件(前年比+377件)
救助件数	172件(前年比 -20件)
危険排除件数	26件(前年比 -5件)
PA連携件数	1270件(前年比 -78件)

令和5年11月 第134号

発行 小平防火防災協会
 小平危険物安全協会
 小平防火管理研究会

監修 小平消防署

秋の火災予防運動

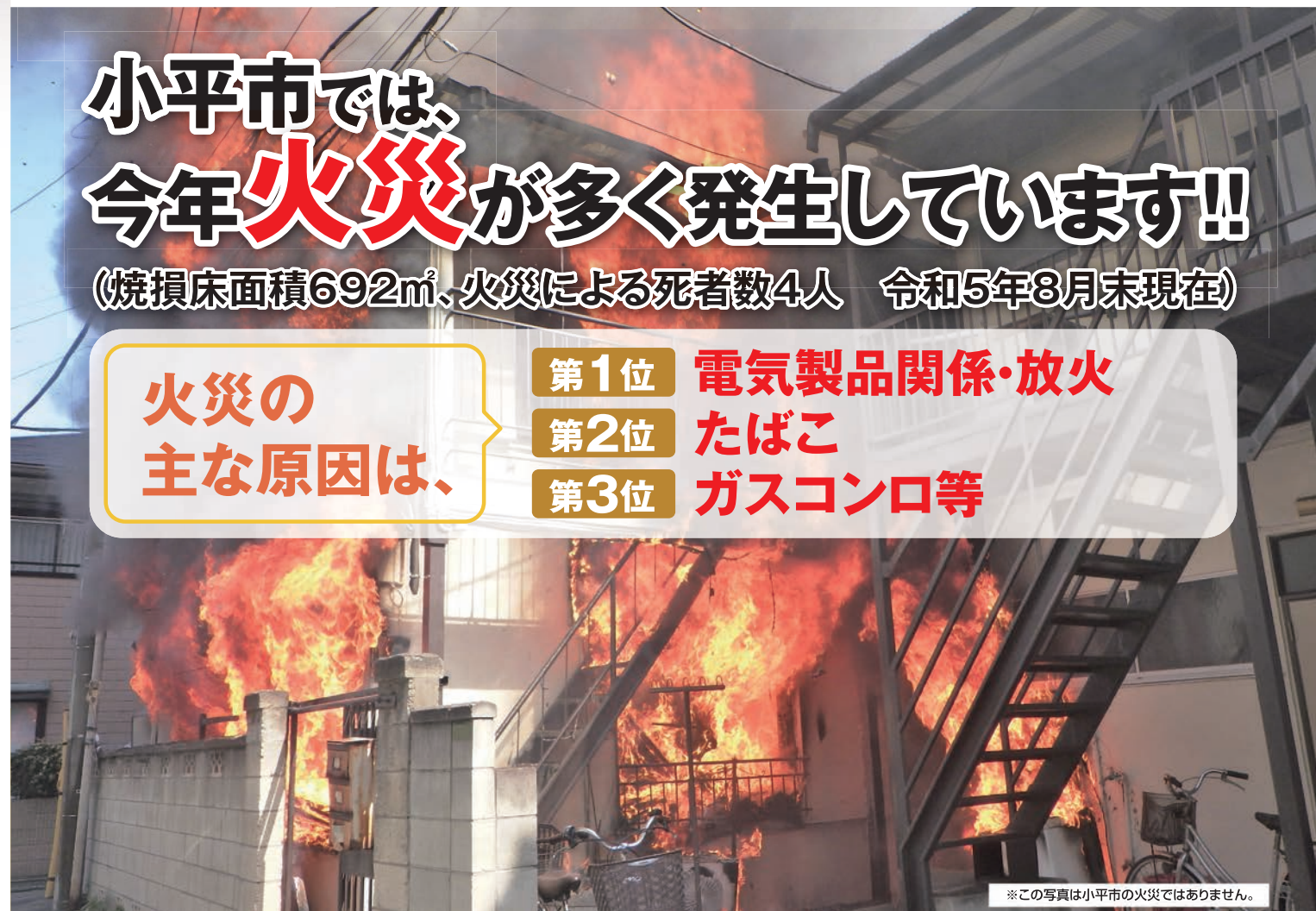
令和5年 11月9日(木)~11月15日(水)

小平市では、今年火災が多く発生しています!!

(焼損床面積692㎡、火災による死者数4人 令和5年8月末現在)

火災の
 主な原因は、

- 第1位 電気製品関係・放火
- 第2位 たばこ
- 第3位 ガスコンロ等



目で確認 声出し確認 火の用心

令和5年度 東京消防庁火災予防標語
 作者:岩崎 公瑠美さん(清瀬市在学)

住宅火災から大切な命を守ろう

東京消防庁管内の令和4年中の火災の死者75人のうち、71人が住宅火災で亡くなっています。火災から大切な命と住まいを守るために、日頃からしっかりと備えましょう！

STOP たばこ火災

たばこによる火災を防ぐには・・・

- 寝たばこは絶対にしない。
- 飲酒→喫煙→うたた寝に注意する。
- 吸殻を灰皿にためない。
- 吸殻は水で完全に消してから捨てる。
- 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する。

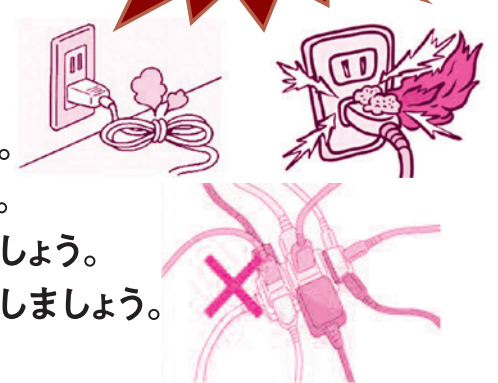


STOP 電気火災

電気火災を防ぐには・・・

- 使用していないプラグは抜いておきましょう。
- プラグやコンセントは定期的に掃除しましょう。
- 家具などの下敷き、折れ曲がり要注意しましょう。
- テーブルタップは、決められた容量で使用しましょう。
- コードは束ねて使用しないようにしましょう。

増えています！



STOP ストーブ火災

ストーブによる火災を防ぐには・・・

- 周囲に燃えやすいものを置かない。
- 外出時や就寝時は必ず消す。
- 給油は必ず消してから行う。
- ストーブの近くで洗濯物を乾かさない。




鳴りますか？住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、命を守る大切な機器です。「いざ」という時にきちんと作動するよう、日頃からお手入れや点検をしましょう。

定期的に点検をしましょう。


点検方法は2種類



正常な場合は、正常であることを知らせる音声や警報音が鳴ります。

お手入れをしましょう。

※通常10年で交換です



ホコリ等の汚れがつくと、火災を感知しなくなるおそれがあります。汚れは乾いた布でふき取りましょう。

STOP コンロ火災

コンロによる火災を防ぐには・・・

- 調理中に離れない。
- 周囲に燃えやすいものを置かない。
- 防災品のエプロンやアームカバーを使用する。
- 火が鍋底からはみ出さないよう調節する。
- 安全機能(Siセンサー)付きコンロを使用する。



迷わず 電気製品の「小さなこげ跡」でも119番通報してください！

東京消防庁版電気製品 火災相談ガイドのQRコードはこちら



テーブルタップのこげ跡 電気コードのこげ跡